

授業科目 評価学演習 3 (基礎的評価・運動器系など)

【担当教員名】 佐藤成登志	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60 (内15:基礎的評価・運動器系など)

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

体表解剖を基本として、骨、関節、筋及び末梢神経の触察方法及び四肢体幹の整形外科的評価方法、関節可動域測定、徒手筋力検査、神経検査、運動病態に即した各種評価方法、基本動作と日常生活関連動作の検査測定評価法を静的、動的両面について習得する。問診・視診・触診などの一般的評価、Vital sign・疼痛評価・触察・姿勢反射検査・平衡機能などの基礎的評価から運動器系の整形外科的検査に関する評価方法を習得する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

1. 一般的評価（問診・視診・触診など）の方法を理解し、実施できる。
2. 基礎的評価（Vital sign・疼痛評価・触察・姿勢反射検査・平衡機能・バランス検査など）の方法を理解し、実施できる。
3. 整形外科的検査の方法を理解し、実施できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	一般的評価（問診・視診・触診など）	1	講義・演習
2	基礎的評価（Vital signの取り方・疼痛評価など）	2	講義・演習
3	触察方法1（頭部・頸部・上肢） 筋肉の触察方法	2	講義・演習
4	触察方法2（体幹・骨盤・下肢） 筋肉の触察方法	2	講義・演習
5	整形外科的検査1（上肢・頸部） 関節、靱帯、筋、神経など	3	講義・演習
6	整形外科的検査2（体幹・下肢） 関節、靱帯、筋、神経など	3	講義・演習
7	姿勢反射検査、平衡機能・バランス検査など	2	講義・演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	理学療法評価学[第2版]	松澤 正	金原出版	2004年 6200円＋税
参考書	機能解剖学的触診技術（上肢・下肢）	林典雄	MEDICALVIEW、	骨格筋の形と触察法 河上敬介他 大峰閣
その他の資料	その他資料は適宜配布			

【評価方法】

出欠、レポート、定期試験（筆記・実技）

【履修上の留意点】